

看護学部／臨床看護学系	職名	教授	氏名	鳥越 郁代
-------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

大学病院で看護師、助産師としての勤務経験を経たあと、助産師教育に携わる。1992年玉川大学大学院文学研究科修士課程修了。1999年に英国のテームズバリー大学大学院に留学、助産実践修士課程修了（2002年）。2003年本学看護学部に着任。2010年兵庫県立大学大学院看護学研究科博士課程修了（博士：看護学）。

帝王切開分娩後の女性が、次の出産を迎えたときの出産様式選択における意思決定支援を主な研究テーマとしている。患者との意思決定の共有（shared decision-making）モデルを根底におくオタワ決定サポート枠組みをもとに帝王切開分娩後の女性の出産選択のための決定援助プログラムを開発し、そのプログラムを用いた介入研究の実施・分析を行ってきた。

2019年から科学研究費の助成を得て、「教育と臨床の協働による帝王切開で出産する女性のための出産準備教育プログラムの開発」をテーマとした研究に取り組んでいる。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

<著書>

鳥越郁代.(2020)「第2章 助産師が行うケアの概念,3.女性の意思決定を支えるしくみ」.工藤美子編『助産師基礎教育テキスト第1巻,助産概論』(第1版第1刷2019年版),56-70.日本看護協会出版.

<論文>

- Ikuyo Torigoe, Allison Shorten. (2018).Using a pregnancy decision support program for women choosing birth after a previous caesarean in Japan: A mixed methods study.Women and Birth. 31(1), e9-e19.
- 加藤法子, 鳥越郁代, 吉村美奈子, Ian Stuart Gale, 芋川浩, 許棟翰, 岡本雅享, 松浦賢長. (2018). 本学学生の国際交流に関する意識調査. 福岡県立大学看護学研究紀要. 15,73-82.
- 箱崎友美, 鳥越郁代, 佐藤香代.(2017). 帝王切開で出産した女性の出産満足度と産後早期のうつ傾向との関連についての検討ー日本語版 SMMS の信頼性・妥当性の検証を通してー. 日本助産学会誌.
- Ikuyo Torigoe, Brett Shorten, Shizuka Yoshida, Allison Shorten. (2016) .Trends in birth choices after caesarean section in Japan: A national survey examining information and access to vaginal birth after caesarean.. Midwifery.37, 49-56.

②その他最近の業績

<報告>

- 鳥越郁代, 加藤法子, 松井聡子, 許棟翰, 芋川浩, 清原智佳子, 松浦賢長. (2019). 韓国、大邱韓医大学校における韓方医学及び看護短期研修プログラムの開発. 福岡県立大学看護学研究紀要. 16, 111-119.
- 鳥越郁代. (2017). 第31回 ICM トロント大会レポート, 世界中の助産師が集い, ライブな助産実践の共有ができる場に参加して. 助産雑誌. 71(1), 861-863.
- 鳥越郁代, 中根直子. (2016). パースにおける NBAC (Next Birth after Caesarean) クリニックでの研修報告. 助産雑誌. 70(8), 678-682.

<学会発表>

- 主税晶, 鳥越郁代.子どもが NICU 入院中に育まれる父親の親性の特徴ーピアサポートグループに参加する父親の語りの分析からー. 第60回日本母性衛生学会,千葉,2019.10.12.
- 金子あやみ, 鳥越郁代, 石村美由紀. 「進まない分娩」に対する開業助産師の分娩進行を促すための助産ケア. 第9回(33回)日本助産学会学術集会,福岡,2019.3.2.
- 針持萌, 鳥越郁代, 石村美由紀, 古田祐子. 看護学生の基礎体温変動パターンおよび月経随伴症状とそのセルフケア行動の実態調査. 第9回(33回)日本助産学会学術集会,福岡,2019.3.2.

- ・安河内静子, 古田祐子, 鳥越郁代, 石村美由紀. 助産所での継続ケア実習が助産師としてのアイデンティティ形成に及ぼす要因. 第9回(33回)日本助産学会学術集会,福岡, 2019.3.2.
- ・立間雅子, 鳥越郁代, 古田祐子. 開業助産師が実践する妊産婦への産痛緩和ケア. 第9回(33回)日本助産学会学術集会,福岡, 2019.3.3.
- ・横手直美, 山下恵, 岡倉美咲, 橋本妙子, 鳥越郁代, 竹内佳寿子. 妊婦の帝王切開分娩に関する情報収集の実態とニーズ. 第8回(32回)日本助産学会学術集会,横浜, 2017.3.18-19.
- ・佐藤繭子, 佐藤香代, 吉田静, 小林絵里子, 石村美由紀, 鳥越郁代. 妊婦と育児中の母親が共に学び合う「身体感覚活性化マザークラス」を試みて, 第7回(31回)日本助産学会学術集会,徳島,2017.3.18-19.
- ・Ikuyo Torioe, Allison Shorten. Trends in birth choices after caesarean section in Japan: A national survey examining information and access to vaginal birth after caesarean, 31st ICM Triennial Congress, Toronto, Canada. 2017.6.20.

③過去の主要業績

- ・鳥越郁代. (2000). 「第10章子どもを産む」,成山文夫,石川道夫編著『家族・育み・ケアリング』,163-178,北樹出版.
- ・鳥越郁代. (2002). 「第6章一対一の助産実践を提供して満足感を得る (Providing one-to-one practice and enjoying it)」 翻訳,Lesley Ann Page 原著『The New Midwifery: science and sensivity in practice』,鈴木江三子監修『新助産学』,129-149,メディカ出版.
- ・鳥越郁代. (2009). シンポジウム『帝王切開分娩を経験した女性のための出産選択の支援』を開催して」,助産雑誌,63(1),54-58.
- ・鳥越郁代, 藤木久美子, 古田祐子, 佐藤繭子, 安河内静子, 吉田静, 小林絵里子, 佐藤香代, 石村美由紀.(2012).助産師学生の分娩期助産課程の到達状況に関する一考察.福岡県立大学看護学部紀要, 9(2), 53-61.

3. 外部研究資金

- ・科学研究費(基盤研究C): 鳥越郁代(研究代表者). 教育と臨床の協働による帝王切開で出産する女性のための出産準備教育プログラムの開発, 2019年度~2022年度
- ・科学研究費(基盤研究B): 横手直美(研究代表者), 鳥越郁代(研究分担者). 緊急帝王切開における妊婦の適応力を高める教育プログラムPEACEのアプリへの応用, 2017年度~2020年度
- ・科学研究費(基盤研究B): 横手直美(研究代表者), 鳥越郁代(研究分担者). 緊急帝王切開におけるトラウマ予防と継続支援のためのスマホ版アプリの構築と効果検証, 2019度~2023年度

4. 受賞

鳥越郁代. 日本助産師会会長表彰.公益社団法人日本助産師会.2020.4.7

5. 所属学会

日本母性衛生学会, 日本助産学会, 日本看護科学学会

5. 担当授業科目

〈大学院〉

看護研究・2単位・1年・前期, ホリスティック助産学特論・2単位・1年, 助産学特論・2単位・1年・前期, 基礎助産学特論・2単位・1年・前期, 基礎助産学演習・2単位・1年・通年, 助産学演習・2単位・1年・後期, 助産実践学Ⅱ・4単位・通年・1年, コミュニティ助産学特論・1単位・後期・1年, 助産学実習Ⅲ・2単位・前期・2年, 助産学実習Ⅴ・2単位・後期・2年, 助産学課題研究・4単位・通年・1~2年

6. 社会貢献活動

- ・ 全国助産師教育協議会 理事
- ・ 日本助産学会専任査読委員

7. 学外講義・講演

望ましい助産師教育におけるコア・カリキュラム、指定規則改正を受けての教育内容の変更点 研修会 企画、運営：全国助産師教育協議会・将来構想委員会・日本赤十字看護大学広尾ホール。

9. 研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員